

本が見あたらないときは、かかりの人に聞いてね。予約もできます。新しい本は他にもあります。小初は1・2年、小中は3・4年、小上は5・6年をめやすにしてください。

『きょうはおやすみします がっこうのてんこちゃん』
ほそかわ てんてん／さく

・ある朝、てんこちゃんは「きょうは学校に行きたくない」と思います。勇気を出して、お父さんとお母さんにその気持ちを伝えてみたところ…。子どもの心に寄りそう、ゆかいでホッとのお話第2弾。(小初)



『放課後ミステリクラブ 3』 作／知念 実希人

・ある春の日、校庭のすみにあるカメの銅像が動いていた。カメの銅像に何があったのか。4年1組の辻堂天馬・柚木陸・神山美鈴、通称「ミステリトリオ」が動き出す! 作家・知念実希人による児童書本格ミステリ。(小中)



『レストランのおばけずかんハイ!』 齊藤 洋／作

・「おばけずかん」シリーズの中のレストランのおばけの話をもっとくわしく書いた、「おばけずかん ハイ!」シリーズ第4弾。「ドリンクいないいないバー」など、レストランのこわいおばけの話全13話を収録。(小中)



『りりかさんのぬいぐるみ診療所 思い出の花ちゃん』
かんの ゆうこ／作

・壊れたぬいぐるみを治療する「りりかぬいぐるみ診療所」の院長・りりかさんが午後の治療を始めようとしていると、小学生の大地がトリケラトプスのぬいぐるみリュックをもって現れて…。(小中)



『私立探検家学園 4』 齊藤 倫

・小学校6年で、私立探検家学園の2回生の松田コロンの3度目の実習を終え、夏休みを迎えたが、ジムが実習から戻らないとの電話が。なかまのため、〈ウクパチャ〉へとむかうコロンの仲間たち。暗闇を抜けた先で、待ちうける秘密とは?(小中、小上)



『嘘吹きアンドロイド』 久米 絵美里

・俺、実はアンドロイドなんだー。人と交流ができる「機械」に命や権利はあるのか。ロボット学を通して現代に必要な命の考え方を伝える物語。「嘘吹き」シリーズ第3弾。(小中、小上)



『ふしぎな図書館と消えた西遊記』 作／廣嶋 玲子

・孫悟空たちが大活躍する「西遊記」の冒険が世界から消えた。魔王グライモンが人間の男の子をさらい、物語を書き換えさせているらしい。宗介、葵、ひなたは「西遊記」の世界で、孫悟空たちの代わりに冒険することに…。(小中、小上)



『ぼくの町の妖怪』 野泉 マヤ／作
 ・ワクワクで胸が高鳴る物語から、ゾクッと背筋がこおりつく物語まで、妖怪調査にまつわるストーリーを収めた本格児童文学短編集。「夜泣き石」「矢食らい山」「目目連」「河童」など全6編を収録する。
 (小中、小上)



『要の台所』 落合 由佳
 ・中学生の要は、引っ込み思案な女の子。ある日、家のベランダで、ネパールから来たお隣さん、サリタが泣いているのを見た要は、クッキーを差し出して…。料理を通じて友情を育むふたりの、ひと夏の物語。「天の台所」シリーズ。(小上)



『なんとかなる本 樹本図書館のコトバ使い 2』 令文 ヒロ子／著
 ・「なんとかなる本」に「なんとかして!」と叫んだら、不思議な図書館に落ちた。司書がかけるコトバの術で、わたしの悩み、解決するの!? 樹本図書館のコトバ使いに助けをもとめた4人の物語。(小上)



『スタート』 作／楠 章子
 ・毒親、貧困、トランスジェンダー、いじめ…。それぞれの問題で居場所を失いかけていく5人の子どもたちの前に、猫をつれたあやしい男が手をさしのべ。今すぐそこにある、子どもたちの物語。(小上)



『妖怪コンビニ 4』 令文 ヒロ子／作
 ・冬休みまで、あと10日。人外向けの「ツキヨコンビニ」のコンビニ・アドバイザーの仕事も板についてきたアサギは、トモルとの友情をあたためつつ、学校では初めての女子友もできたのだが…。「妖怪コンビニ」シリーズ第4弾。(小上)



『100億円求人』 作／あんのまる
 ・ボタン1つで爆発する首輪をつけられ、24時間監視されて生活する中学生4人。解放に必要な金額は100億円。事件から4年。「報酬100億円」と書かれた求人広告があらわれる。4人は一夜かぎりの「極秘業務」にいどみ…。(小上、中)



『ポー短編集 黒猫』 文／にかいどう 青
 ・一番おそろしいのは、人間の心…。猫をめぐる狂気と破滅の物語「黒猫」、ドッペルゲンガーを題材に自分自身との闘いをえがく「ウィリアム・ウィルソン」など、ポーの名作ホラー全6編を児童文学作家があらたに再話。(小上、中)



『あなたの言葉を』 辻村 深月
 ・あの時、のみこんだひと言。いま感じている気持ち。その言葉はいつか必ず、あなたを助けてくれる。作家・辻村深月が自らの体験を元にまっすぐに語りかけるエッセイ集。『毎日小学生新聞』連載を単行本化。(小上、中、高、般)

